

■ごあいさつ

安曇野市は、長野県のほぼ中央に位置し、雄大な北アルプスを含めた緑豊かな森林は、本市の総面積のおよそ3分の2にあたります。

森林には、水源涵養機能や土砂災害の防止機能など私たちの暮らしを豊かにする様々な機能があります。

この森林のうち、人里近くに広がる里山は、かつて私たちが生活するために欠かせない自然環境でありました。

しかし、私たちの生活様式の変化などに伴い、里山を利用することが少なくなり、人の手が入らなくなった里山では、松くい虫被害や鳥獣被害など様々な問題が生じてきております。

このような問題に取り組むため、安曇野市で生活を営む市民・森林所有者・事業者の皆さんに、私たちの暮らしを守り、豊かにしてくれる里山のことを知っていただき、里山の再生に向けた取組を一緒に進めていただきたいとの思いから、「安曇野市里山再生計画」を策定しました。

この計画により、多くの皆様が里山と関わり、里山を再生するための具体的な取組にご参加いただきますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、多大なご尽力をいただきました「安曇野市里山再生計画検討委員会」の皆様をはじめ、貴重なご意見をいただきました市民・山林所有者の皆様など、関係の皆様にご心から感謝を申し上げます。



平成 27 年 3 月
安曇野市長 宮澤 宗弘



■まえがき ～安曇野市里山再生計画について～

安曇野市里山再生計画（以下「本計画」といいます。）は、安曇野市で生活する市民、事業者、そして行政が、市内の里山の重要性と現状を再認識しながら、里山を守るためにどのような活動をしていくかを明らかにするものです。

里山とは、人里近くに広がる森林を主体として、草地や、それらに隣接する田畑・ため池を含めた一帯を指します（詳しくは、第1章1ページに後述します。）。

かつての里山は、人々が日々の燃料（薪など）や肥料、そして馬や牛など家畜の餌を採取するための場所であり、森や広い草地が管理・維持され、集落の生活に欠かすことの出来ない自然環境でした。そのため、里山は、人々の利用によって自然環境のバランスや構成が変化しながらも、自然資源を守りながら利用する仕組みが成り立つことで受け継がれてきた環境といえます。

しかし、1960年代に、私たちの家庭で使われる燃料が、薪や炭から石油やガス、電気に変化し、また農地で使用する肥料が化学肥料へと変化するなかで、里山の利用価値が急激に低下し、里山は放置されるようになりました。

その結果、里山に人が入らなくなったことで、「山の獣が里に出て、農作物を荒らしてしまう。」という生活への影響を懸念する声や、「生物多様性が乏しくなっている。」、「松枯れにより土砂災害防止機能が低下するのではないか。」というような里山が持つ機能の低下への懸念の声も聞かれています。

こうした状況において、本市は安曇野市環境基本計画^{*1}（平成20年策定）（以下「環境基本計画」といいます。）の中で、「里山をもう一度、あるべき姿に再生する」方針を示しました。この方針とはつまり、災害の少ない安全な里山と、良好な里山の景観と自然環境を目指すことです。

本市では、森林づくりの基本的な考え方などを明らかにする、安曇野市森林整備計画^{*2}（以下「森林整備計画」といいます。）を策定しています。この森林整備計画に基づいて、事業者などが森林経営計画^{*3}を策定し、市内の里山で伐採、植林などの森林整備を進めています。

しかし、里山が自然資源を守りながら利用する仕組みによって成立してきたことを考えれば、里山再生は、森林整備計画だけでは実現することが困難です。里山を利用する仕組みを現在の生活スタイルにあった形で、もう一度作り上げることが里山の再生には欠かすことができません。

本計画に基づく取組と森林整備計画に基づく森林整備が両輪となって、里山の再生を図り、市民が豊かで安全な生活環境を作り上げていくことを目指します。

用語解説

※1 安曇野市環境基本計画

安曇野市の目指すべき環境像実現のために、「共存・共生」「安全・安心」「循環型社会」「参加と協働」を4つの柱として平成20年3月に策定されました。

■ 計画の位置付け

本計画は、環境基本計画の具体的な実行計画として位置づけられます（図 1）。環境基本計画は、第一次安曇野市総合計画※4 に示された基本理念や将来像について、特に環境面でこれらを実現するための計画です。

環境基本計画では、本市の自然環境を山岳、森林（主として人工林）、里山（主として、かつて炭や薪として利用された広葉樹林）、里地に区分し、特に森林・里山の整備の推進を重点的に取り組む項目として定めています。

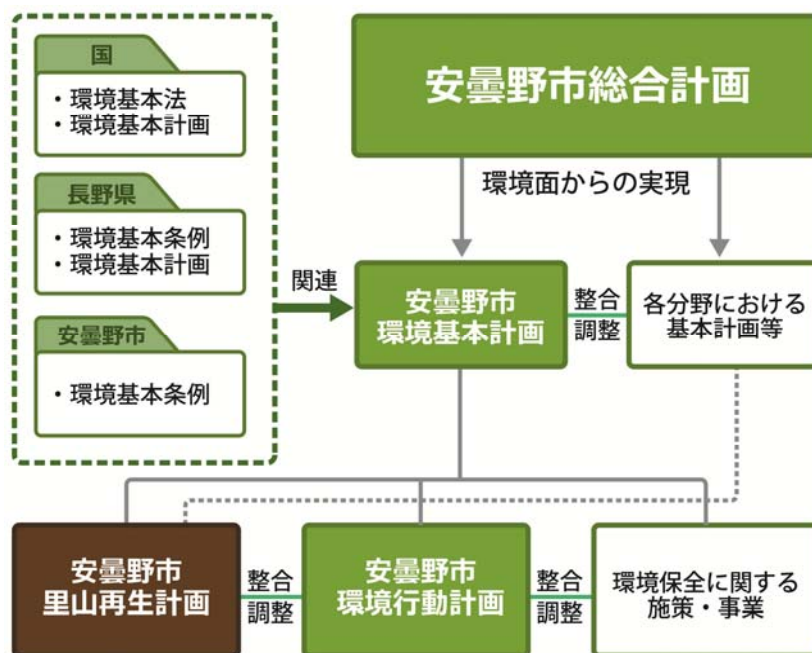


図 1 里山再生計画の位置づけ（「安曇野市環境基本計画」掲載の図を一部改編）

用語解説

※2 安曇野市森林整備計画

市町村が民有林に対して5年ごとに作成する森林づくりの計画（10年1期）です。地域の森林・林業の特徴を踏まえ、森林整備の基本的な考え方や区画配置（ゾーニング）、森林施業の方法及び森林の保護、路網整備などの考え方を定めるマスタープランです（詳細は、参考資料をご参照ください。）。

※3 森林経営計画

森林経営計画とは、「森林所有者」または「森林の経営の委託を受けた者」が、自らが経営をおこなう森林を対象として、森林の施業及び保護について作成する計画（5年1期）です。

※4 安曇野市総合計画

総合的な市政運営の基本方針である「第1次安曇野市総合計画」が、平成20年3月に策定されました。総合計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」で構成されています。

■ 本計画策定の経緯

本計画は、安曇野市里山再生計画検討委員会（以下「委員会」といいます。）を設置して、3年間にわたってその内容を検討して策定したものです。

委員会は、15名の委員で構成されました。委員の専門分野は多岐にわたり、学識経験者、林業関係者、建築設計関係者、森林をフィールドとする NPO 関係者が参画して現地視察や室内での討議を重ねました。

また、委員会では、里山整備、普及啓発、環境保全の3つのワーキンググループ（以下「WG」といいます。）を設置し、それぞれの WG において里山再生計画の具体的な取組の内容について検討しました。

表1 安曇野市里山再生計画検討委員会 名簿

区分	氏名	所属など	委員会での役割
学識経験者	片倉 正行	元 長野県林業総合センター所長	委員長
林業振興協議会	白澤 亀内	安曇野市林業振興協議会 会長	副委員長
山林所有者	山口 裕	—	環境保全WG
	高橋 恒雄	—	環境保全WG
林業関係者	飯沼 千賀子	松本広域森林組合 森林整備担当	里山整備WG
	内川 利喜夫	内川林業	里山整備WG
	中野 安久	株式会社林友 取締役 顧問	里山整備WG
	尾日向 辰文	長野県建築士会安曇野支部 副支部長	里山整備WG
	小椋 緑	森林インストラクター	普及啓発WG
市民団体	永田 千恵子	特定非営利活動法人 森倶楽部 21 代表	普及啓発WG
	田川 理貴	あづみの再活の松プロジェクト 代表	普及啓発WG
公募委員	仙石 大治	—	普及啓発WG
	牛山 宜久	—	普及啓発WG
	降籟 史敬	—	環境保全WG
	小林 清次	—	環境保全WG
アドバイザー	奥原 祐司	長野県松本地方事務所林務課	—
	植松 晃岳	環境基本計画推進会議副会長	—

表 2 安曇野市里山再生計画検討委員会開催の経緯

回次	開催時期	概要
第 1 回	平成24年2月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員長及び副委員長の選出 ・ 安曇野市の里山の現状の把握 ・ 他自治体の事例把握
第 2 回	平成24年5月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 里山の課題と問題点の抽出 ・ 計画の「目指す姿」の協議 ・ アンケートの実施計画の検討
現地視察	平成24年8月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の里山の現状視察 (平地林、松枯れ被害、搬出間伐実施地など)
第 3 回	平成24年9月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート結果の解釈 ・ 計画の「目指す姿」の協議
第 4 回	平成24年11月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の「目指す姿」と「基本施策」の協議
先進地視察	平成24年12月12日 ～13日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 根羽村、豊田市の取組視察 ・ ペレット加工場の視察
第 5 回	平成25年1月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の「目指す姿」と「基本施策」の協議
第 6 回	平成25年3月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の協議の方向性検討
第 7 回	平成25年8月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の基本方針の検討 ・ WG の編成、実施概要の検討
里山整備 WG	平成25年9月10日 ～11月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続的な仕組みづくりと 具体的な取組内容の検討
普及啓発 WG	平成25年9月4日 ～12月4日	
環境保全 WG	平成25年8月8日 ～12月10日	
第 8 回	平成25年10月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各 WG のこれまでの検討結果と今後の方針の報告 ・ 全体討論：WG 検討事項の計画への反映
第 9 回	平成26年2月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各 WG の検討結果の報告 ・ 里山再生計画（素案）の検討
第 10 回	平成26年6月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経緯の確認 ・ 策定までの論点整理
合同 WG	平成26年7月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意見交換会を踏まえた原稿全体の概要確認 ・ 基本施策の具体的書き込み内容の検討

回次	開催時期	概要
普及啓発 WG 環境保全 WG	平成26年8月5日	・原稿全体に対するコメント集約
里山整備 WG	平成26年8月18日	
第 11 回	平成26年9月2日	・基本施策の内容検討 ・進行管理の内容検討
普及啓発 WG	平成26年11月6日	・原稿全体に対するコメント集約
環境保全 WG	平成26年11月21日	
第 12 回	平成26年11月26日	・原稿全体の仮承認
里山整備 WG	平成26年12月19日	・基本施策の内容検討
第 13 回	平成27年1月28日	・計画案の承認 ・推進体制の確認、翌年度の活動確認



検討委員会の様子（平成 25 年 8 月）



ワーキンググループの様子（平成 25 年 9 月）



穂高牧地区での森林整備状況の視察
（平成 24 年 8 月）



長峰山蝶の森での現地視察（平成 24 年 8 月）